



地域を育み、大陸をつなぐ

2010～2011年度 国際ロータリーのテーマ
レイ・クリンギンスミス

RI第2510地区

留萌ロータリークラブ 会報

2010 ▶ 2011 WEEKLY REPORT

会長／二ノ宮清信 幹事／森 俊二

留萌ロータリークラブ
会長テーマ

みんなで50周年を祝い ロータリーの輪を拡げよう!!

プログラム

- 本日
会員卓話
「電気が家庭に届く仕組みについて」
斎藤敏夫会員
 - 次週予定
漁火例会
- | | |
|-------------|------------|
| 会員誕生日 | 結婚記念日 |
| 3月31日 渡邊 裕久 | 4月1日 佐藤 喜一 |
| 4月4日 角 隆巨 | 4月3日 佐々木 繁 |

No. 2458

第35回 3月30日

出席報告

前例会

会員総数	45名
出免会員	8名
出免出席	3名
出席会員	27名
出席率	75.00%

前々例会

第32回 3月2日

欠席会員	9名
内メイクアップ	0名
修正出席率	78.05%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F



会長報告

1. 国際ロータリー 2510地区・佐々木ガバナーより「東北・関東大震災」により被災された方々への災害義援金募集の依頼がありました。義援金はクラブ毎に3月31日までに振り込みとなっていますので、皆様には今日23日と次回30日の例会にてお願いいたします。皆様のご協力をお願いいたします。
2. 昨日、2510地区のWC Sアドバイザー・出村地区財団委員よりメールがあり、先月田中会員と西谷英樹会員がWC S検証ツアーで訪問をしたタイのノンカイRCより、この度の東北・関東大震災の被災者に対しての義援金が2510地区に送られて来たそうです。金額は12万バーツ(318,600円)です。
ノンカイRCの会員は30人足らずで、更に

タイと日本の物価の差を考えますと大変大きな金額です。

また、ノンカイ県のレスキューチームも早速募金をして当地区に6,900バーツ(183,230円)を送金してくれました。

合計で50万円の義援金がタイ、ノンカイが送られてきたこととなります。



幹事報告

- 新世代奉仕活動アンケートを受領いたしました。次年度申橋委員長にお渡しいたしました。
- ロータリー日本財団発足に伴う寄付金明細書を受領いたしました。
- 本日例会後、臨時理事会を開催いたします。ご協力ください。

 **ニコニコBOX**

累 計 624,500円

 **プログラム**

「グループミーティング」

会員増強プログラム

《開催概要》

本例会はクラブの基盤を築く会員が更なる親睦、ロータリーの輪を拡げるため開催いたします。

二ノ宮会長が掲げて5つのクラブ目標達成には、会員維持は勿論の事、新しいエネルギーをもたらす事が活気あるクラブ作りへの第一歩だと考えます。

本年度50周年を迎えるにあたり、会員維持・会員増強はクラブにとって最優先事項の1つでもあり、委員会のみならず会員一人ひとりの責任と言っても過言ではありません。

目まぐるしい社会情勢ではありますが、有意義なクラブ活動へ向け皆様のご意見を賜りたく存じます。

《開催要項》

- 1) 職業分類が現在の動向に適するものかどうか、職業分類調査・確認。
- 2) 未充填職業分類の見直し。
- 3) 新入会員候補のリストアップ

【第1グループ】

リーダー・鈴木／副リーダー・渡邊
久木、関野、福土

【第2グループ】

リーダー・高橋／副リーダー・清水
高田、深瀬、山本

【第3グループ】

リーダー・遠藤／副リーダー・燕
越野、田中、森(俊)

【第4グループ】

リーダー・行徳／副リーダー・古野
渡部、中出、森(幹)

【第5グループ】

リーダー・西谷(英)／副リーダー・河部
平井、佐々木、阿部

【第6グループ】

リーダー・大嶋／副リーダー・齋藤(清)
二ノ宮、対馬、明澤、串橋

【第1グループ】

- 1) 今の現状にあっていないという意見もあり、時代と留萌にあったシンプルな形にしていこう。会員からは変更または修正の申告をしてもらい、何らかの会で検討し、新しく決めようという意見が出ていました。
- 3) 2009年当時の名簿が来ていましたが、もう一度新しいものを出していたところです。



【第2グループ】

- 1・2) 未充填でも2～3名入れるため、形があるだけで実際にこれが運用されているかどうかは疑問なところです。標準職業分類表がありますが、そんなに見直す必要性はないのではないかと。
- 3) 2名ほどリストが上がっています。

【第3グループ】

- 1・2) 今の段階では修正は必要ないのではないかと。
- 3) 2名ほど名前が上がっています。

【第4グループ】

- 1) 1業種複数数が入ることになるので現状問題はないのではないかと。
- 2) 今のところこれでいいのではないかと。
- 3) 2名ほど名前が上がっております。

【5グループ】

- 1) 実際この職業分類は100名以上いた時に作ったもので、現在半分以下になっている状況で見直す時期に来ているのではないかと。
- 2) 今の時代に即して、今後IT関係等を増やしていき、今後消えていく職業もあるので整理した方がいいのではないかと。今後職業の変更もあるので、できれば本人希望も聞いて職業分類の変更もした方がいいのではないかと。
- 3) 今まで相当数リストアップされてはいたが、入会まではいたらなかった。新しく入会された方から近い人の情報を得て、若返りを図る必要があるのではないかと。具体的には2～3名あがっています。



【6グループ】

- 1・2) 入会させる前に職業分類を作成させてはどうか。1業種5名までという大きい枠で入会させてはどうか。
- 3) 2名ほど上がっております。



《周年事業実行委員会より》

昨日、実行委員会の総務委員会で50周年の記念式典をどうするか話し合いました。

この大きな災害の起きてる中、当クラブは計画通り実施するのか、自粛をするのか、中止をするのかということです。

実行委員会としての見解は、

- 50周年記念事業…飲食などを含め中止をする。すでに発注済みであるため実施する。
- 記念誌…50周年という節目の年であるため記念誌は発行する。
- 積立基金…記念事業と記念誌にあてる。立山元会員からいただいた寄付は残高として残したい。今年度皆さんから上期の分の1万円、下期は登録料として1万円を集めており89万円になります。

今回の東日本大震災はあまりにも被害が大きすぎます。被災され生活の苦しい方たち、これから立ち直るために努力している人たちのために、何かできないだろうかという話が出てまいりました。

故・富山ガバナーの時に奥尻島で地震があり、全国ロータリアンから義援金が集まり親を亡くした子供たちの奨学金にした経緯もありました。

今、皆さんから集めたお金89万円と合わせて100万円以上になります。

それを踏まえて、皆さんに議論をしていただき、各テーブルごとに結論を出していただきたいと思います。各テーブルには昨日話し合いに参加した方がいらっしゃいますので、昨日の話の詳細は聞いていただきたいと思います。

【第1グループ】

式典とかが中止なのは賛成です。ただ、集めたお金をどうするかということで紛糾しました。地区に送るとどこに使われたのか明確にならず、留萌ロータリークラブが独自に寄付するのがいいのではないかと。使い道に関しては慎重に吟味した方がいいのではないかと意見が出ました。

第34回 3月23日(水) 天候/雪

【第2グループ】

実行委員会の意見に大賛成です。今こうして大災害が起き、人道的支援が必要なきに奉仕という名を掲げているクラブであるから、今こそ奉仕ではないかということで賛成です。中止、そして今まで積み立てていただいた100万円ほどを送っていただきたいという意見になりました。



【第3グループ】

昨日の実行の見解に大賛成です。



【第4グループ】

祝宴は全面中止に賛成です。例会時にガバナーに来ていただいて講演をいただくのもいいのではないかと。ロータリーの枠にとらわれることなく被災地区の孤児への育英資金として指定寄付をしてもいいのではないかと。NHK、もし

くは国際赤十字を通して寄付をしてみてもどうか。



【第5グループ】

式典に関しては、もし招待してもこれを理由にほとんどのクラブが欠席なさるのではないかと思いますし、中止で大賛成。記念品に関しては地元にも少しでも貢献できることですので十分考えていただければいいかと思います。

【第6グループ】

例会にお客様を呼んで贈呈式をするなど、50年としての形をとるのが良いのではないかと。

例会プログラム【4月】

4月6日(水) 夜間例会「漁火例会」

4月20日(水) 来賓卓話 北海道新聞留萌支局

4月13日(水) 休会

4月27日(水) 会員卓話「介護保険などについて」

西谷英樹 会員